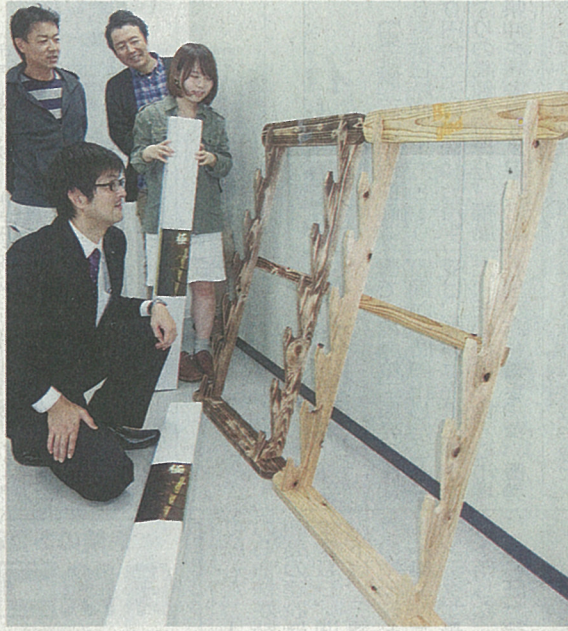


### 文化芸大生と釣り具業者など連携

## 釣りざおホルダー開発

静岡文化芸術大(浜松市中区)の学生と釣り具販売のイシグロ(中区)、仲田建築(北区)などが連携し、インテリアとして釣りざおを飾る「極 2way ロッドホルダー」を共同開発した。地元産の天竜杉を使って、イシグロで



共同開発したロッドホルダーの出来栄を  
を確認する関係者たち＝浜松市中区で

## 静岡けいぎい

仲田建築の仲田伸吾取締役(右)は「釣りざおがきれいに見える感覚や木の温かみにこだわった」と話す。

二十五日に発売する。木目や節を強調し、天然木らしさを表現している。高さ一・二五メートル、幅七十八センチ。釣りざおを六本収納でき、立て掛けたり、壁に掛けたりして使用する。ナチュラルと焼き杉の二種類を販売する。加工を担当した

浜松地域の活性化に取り組み市内の二十一社・団体でつくる「はままつ応援隊」の活動の一つで、地域の良さを若者らに伝えようと昨年から開発を進めてきた。

価格は一台一万二千八百円(税抜き)。イシグロ高林店(中区)と中吉田店(静岡市駿河区)、鳴海店(名古屋市緑区)の各店で十点のみ限定販売する。来年一月以降はイシグロの他店舗でも扱い、計百点の販売を目指す。(山田晃史)

## 静電気対策の新刊

シリーズ3作目



自社の静電気除去装置を紹介する新刊を手にする高柳真社長＝浜松市西区で

静電気除去装置メーカーのトリリンク(浜松市西区)が、工場での静電気対策などをまとめた「トリリンク・メソッド」シリーズの新刊本「新しい手段」を発売した。電子基板や液晶パネルなどを製造する現場で役に立つ自社のさまざまな装置を紹介している。

「従来の間違った常識」に続く三作目。二百一十五ページ。非売品で、静電気や異物対策を検討する企業を対象に提供する。希望する場合は、トリリンクのホームページから申し込める。(西山輝一)

## 浜信 コア業務純益4.0%減 9月中旬

### 決算

浜松信用金庫(浜松市中区)が二十二日発表した二〇一六年九月中間決算(単体)は、本業の収益を示すコア業務純益が前年同期比4.0%減の二十四億円だった。インターネットバンキング手数料などが増加したが、低金利で貸出金利が減少した。国債等債券売却益を増やしたが与信費用も増加し、一七年三月期の純利益予想は二十三億円程度を見込んでいた。(瀬戸勝之)

情報はFAX 053(421)5218